

# 時間に時間をささげる

## 5月

2025年5月1日

読者の皆さん

永続するものとは何でしょうか？ 何が時間の試練に耐えるのでしょうか？ 時間を超越して——ひょっとして時間よりも長く存在し続けるものとは？ 過去、現在、未来を結ぶ目に見えない糸とは何でしょうか？ そしてそれが私たちの知覚の範囲に一瞬でも入った時、私たちはそれをどうやって覚えておくのでしょうか？

5月に入り、これらの問いが私の関心をかき立てます。バーバの月。1990年代のあるサツァングで、バーバ・ムクターナンダの誕生月とマハーサマーディの月である5月と10月のそれぞれに、グルマールは初めてこの名前を付けました。この呼び名に対するシッダ・ヨーギたちの反応は、即座で情熱的でした。彼らはこの名前を心から気に入り、それ以来この呼び名は自然に定着しています。

これは素晴らしいことです。5月は時間が進む途次として明確に定義されます。それはグレゴリオ暦の標準的な一部で、(4月の後で6月の前の、5番目の月として)毎年同じ時期にやって来ます。決まった日数と週に区分されています。それでも、シッダ・ヨーガの道においては、この月をバーバ・ムクターナンダ——バーバの生涯、バーバの遺産——と結びつけているため、5月には時間を超越したオーラがあります。

例えば、自然の中に「バーバの印」を垣間見た時——木々の間の「M」の形、バーバの衣と似たオレンジ色の羽、バーバが好んで教えたブルーパールのような空に青く輝くクリシュナの雲——私たちはそれを感じます。人々が語るバーバの物語の中にもそれを感じます。例えば、私はバーバがマハーサマーディに入った後に生まれたので、私自身はバーバに会ったことはありません。しかし、生存中のバーバを知り、彼のダルシャンと教えを受けたシッダ・ヨーギたちの話を聞くと、時間が消えていくように感じます。彼らの目に宿る愛に、その声の柔らかな響きの中に、私は見るのです——バーバはここに、まさにここに、私たちと共にいるのだと。

花は咲いて散りますが、その美しさ、魅惑的な香りは、それを覚えている人々の心に残ります。川底から水が干上がっても、その流れの記憶は粘土や堆積物を蛇行する溝となって大地に刻み込まれています。月は、満ち欠けを繰り返す中でも完全なままです。時間を超越するとは何でしょうか？ それは私たちが認識するものでしょうか、それとも私たちが作り出すものでしょうか？ それは私たちが増幅させるものでしょうか？ それは私たちに守る責任があるものでしょうか？ それは、これらすべてが一度に起こっているものなのではないのでしょうか？

この課題を1カ月間にわたって熟考することができます。5月 11 日は、世界中の多くの地域で人々が母の日を祝います。時間の限界を寄せ付けない力、私たちが変わっても、状況が変わっても、周囲の世界が変わっても、強さと純粋さを保ち続ける力について考える時、すぐに私の頭に浮かぶことが二つあります。それは、グルの愛と母親の愛です。実際、この二つにそれほど違いはありません。グルマーイがどのようにして「グルマーイ」として知られるようになったかについての物語を、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトを読んで(または再読して)みてはいかがでしょうか。

5月 12 日の満月の日に、私たちはバーバの太陰暦の誕生日を祝います。4日後の5月 16 日には、バーバの太陽暦の誕生日を祝います。私は、いかに私たちがバーバの恩恵の中に永遠を、バーバの愛の中に無限を体験するかについて触れてきました。これに加えて、そして恐

らく最も重要なのは、バーバが与えた教えの中に永遠性を発見(無限性に遭遇！)することです。シッダ・ヨーガの道の英知——バーバやグルマリーが授けた教え——は、時間を超えたもののなのです。

この手紙の冒頭で、私は何が永続するのかを尋ねました。答えは、知識です。知識は永続します。グルの教えは、どんな時にも場所にもつながりながら永続します。

しかし、重要な注意点があります。時間を超越する教えの体験、教えの永続的な力の体験は、私たちの努力——教えを理解し、実践し、自分のものにしようとする努力——に付随するものです。グルの教えの真の遺産は、弟子の内側に生じる変容の中に生きています。そしてそれは、私たちの自発的で積極的な参加によってのみ起こるのです。

1月以来、グルマリーが「時間という存在の前で」の一部として毎日私たちに与えてきた教えについて考えてみてください。私たちは、毎日の教えが美しく、興味深く詩的で、それを自分自身に読み、繰り返すことで私たちに慰めと支えを与えてくれると期待することができます。しかし、その後はどうなるのでしょうか？ 私たちはその教えを「これ以上」どうしたらいいのでしょうか？それが目下の問題です。

例えば、グルマリーが5月1日に与えた教え、「時間の黄金性」について考えてみましょう。この教えをあなたにとってより恒常的な現実にするために、あなたはどのようなステップを踏むことができますか？ 自分の時間は黄金のようだと自覚して行動するとはどういうことでしょうか？ 時間のスケジュールの立て方や、特定の時間に何に注意を向けるかについて、どのような変化を加えられるのでしょうか？ (もちろん、これらの質問は教えの解釈の一つを前提としています。解釈する方法はもっとたくさんあり得ますし、それらの解釈も同様の方法で探究することができます)

5月末までに、私たちはグルマリーから時間についての 138 の教えを受け取ることになります。それは、時間についての新たな洞察を得て、時間に対する私たちの取り組みを再構成して、私たちの生活に有益な変化を起こす一歩を踏み出すための 138 の機会です。5月はまた、私たちが「時間という存在の前で」からグルマリーの教えを受け取る最後の月でもあります。来月は美徳、つまりサッドグナ・ヴァイバーヴァを学びの焦点として取り上げます。

それまで、これからの 31 日間を最大限に活用しましょう——バーバの月を祝い、神聖な母をたたえ、そして 2025 年のグルマリーのメッセージの探究を続けながら。私たちが、グルマリーが今年のメッセージで教えているように進み、そして真に「私たちの時間を私たちの時間に値するものにする」ことができますように。

心を込めて

イーシャ・サーデサイ



© 2025 SYDA Foundation®. 著作権所有。